

三重県鋳工業生産及び生産者製品在庫の動き

1 概況

1 生産の動き

平成22年の県内鋳工業生産指数の年平均は102.6(平成17年=100)で(年指数については、原指数によります。以下同じ。)対前年比14.8%の上昇となりました。四半期ごとの推移についてみると(四半期別指数については、季節調整済指数によります。以下同じ。)1期100.8(対前期比5.7%増)、2期103.7(同2.9%増)、3期102.3(同1.4%減)、4期103.4(同1.1%増)となりました(表1、図1)。

これを業種別に対前年比で見ると、輸送機械工業▲4.8%、電力・ガス事業▲3.8%、石油・石炭製品工業▲1.5%と、この3業種だけが低下となり、それ以外の業種ではすべて上昇となりました。上昇の大きい順に、一般機械工業35.1%、電子部品・デバイス工業32.1%、電気機械工業25.0%、情報通信機械工業24.0%、ゴム製品工業20.6%、家具工業20.5%、その他製品工業20.0%、鉄鋼業18.9%、窯業・土石製品工業14.6%、化学工業9.9%、非鉄金属工業8.1%、鋳業6.9%、金属製品工業6.3%、パルプ・紙・紙加工品工業4.5%、木材・木製品工業4.3%、プラスチック製品工業2.2%、食料品工業1.7%、繊維工業0.4%となりました。(表3)

また、財別に対前年比で見ると、すべて上昇となっており、上昇の大きい順に、資本財26.7%、鋳工業用生産財21.6%、その他用生産財11.5%、建設財8.7%、非耐久消費財4.4%、耐久消費財1.0%となりました。(表4)

2 生産者製品在庫の動き

平成22年の県内鋳工業生産者製品在庫指数(以下「在庫指数」とします。)の年平均は、100.3(平成17年=100)で、対前年比7.5%の低下となりました。四半期ごとの推移についてみると、1期98.6(対前期比4.9%増)、2期101.3(同2.7%増)、3期97.3(同3.9%減)、4期103.7(同6.6%増)となりました。(表2、図1)

これを業種別に対前年比で見ると、上昇したのは輸送機械工業35.2%、ゴム製品工業19.4%、鉄鋼業5.1%、非鉄金属工業1.7%、プラスチック製品工業0.5%の5業種となりました。一方、低下したのは一般機械工業▲26.4%、金属製品工業▲24.8%、鋳業▲24.3%、食料品工業▲17.1%、その他製品工業▲14.3%、窯業・土石製品工業▲13.2%、繊維工業▲12.9%、化学工業▲12.9%、石油・石炭製品工業▲12.1%、木材・木製品工業▲10.0%、パルプ・紙・紙加工品工業▲8.9%、電気機械工業(旧分類)▲7.8%、家具工業▲4.6%となりました。(表5)

また、財別に対前年比で見ると、上昇したのは耐久消費財7.2%だけで、それ以外の財はすべて低下となり、資本財▲17.8%、建設財▲10.6%、非耐久消費財は▲9.5%、鋳工業用生産財▲7.5%、その他用生産財▲6.6%となりました。(表6)